

体育部壮行会総長激励文

本日の体育部壮行会開催にあたり、学友会会長として一言挨拶を申し上げます。

3月11日に東日本を襲った未曾有の大震災は、本学の教育研究施設は言うに及ばず課外活動施設にも甚大な被害をもたらしました。体育部に関しては、津波で流出した七ヶ浜ヨット艇庫をはじめ、名取ボート艇庫、片平中央体育館、武道場が大きな被害を受け、私自身も現地を視察し惨状を目の当たりにしました。練習場所の確保に苦慮している現状において、体育部の皆さんが十分な練習時間を確保出来ていないことは想像に難くありません。

このような困難な状況のなか、皆さんは第50回記念大会となる今回の七大会戦に挑むこととなりますが、こういう逆境時こそ燃えるのが学友会体育部だと思います。奇しくも、仙台を本拠地とするベガルタ仙台は、苦境に立たされたにもかかわらず見事至難を乗り越え、被災地に希望を与えるがごとく快進撃を続けております。また、先日開催されたJapan Cup第33回全日本軽量級選手権大会においては、漕艇部が見事銀メダルを獲得したという嬉しい知らせがありました。既に行われた競技においても、柔道部が第3位の成績を収めております。

現在のところ、最下位ということですが、このまま下位に甘んじることはないよう、本日から始まるバスケットボールを皮切りに巻き返しを図っていただきたいと思います。大会はこれからが佳境、体育部一丸となって戦いに挑み、見事、記念すべき10回目となる総合優勝を成し遂げ、3年ぶりに皆さんとともに勝利の喜びをわかちあいたいと思います。

最後に、競技を行う以上、良い成績を収めることは勿論大事なことです。怪我をしてしまっただけでは、せっかく手にした栄光も霞んでしまいます。「無事是名馬」。大会のほか日頃の練習においても、怪我や事故の無いよう、安全面には十分留意し万全の体調で大会に臨んで欲しいと思います。

体育部のさらなる発展と活躍を願って、挨拶に代えさせていただきます。